



題字：慈雲老大師（円覺寺派前管長）

■編集・発行／神奈川骨髓移植を考える会

〒254-0042 神奈川県平塚市明石町 24-25-309 黒部設計事務所内 発行責任者／村上忠雄

TEL:090-4713-7300 FAX :0463-25-1383 <https://www.bmtkanagawa.com/> E-mail:bmtnoniji@yahoo.co.jp

■日本骨髄バンク <http://www.jmdp.or.jp> ■全国骨髄バンク推進連絡協議会 <http://www.marrow.or.jp>

生きているのが仕事です　すてきに　したたかに



～ちよい悪オヤジの闘病記～



先ず初めに、平成 31 年 2 月 12 日、「池江璃花子さん白血病告白」衝撃的なニュースが飛び込んできました。焦らずに健康を取り戻して欲しいと心から願っています。



平成 22 年 2 月 2 日（火曜日） 一一

「個室か2人部屋、どちらにしますか？」

血液検査のデータがおかしいと、かかりつけの医師の紹介で行った病院でこう言われました。検査のつもりで来ている僕は入院の準備などしているわけがありません。しかも人生初の入院、何をどうしていいのか見当もつきません。「一度家に帰って・・・」「それは無理です。万が一転倒して頭を打ったら危険です。血が止まりませんから。」いったい自分の体に何が起きているのか???それを整理する間もなくストレッチャーで病室に運ばれて緊急入院しました。

「病名は『急性骨髄性白血病』かなり深刻な状態です」との診断でした。当時現役の薬剤師であった僕は医師の言う様々な数値が何を意味しているのか概ね理解することができました。そうか、僕は59歳で死ぬのか……。3日間はベッドで泣いていました。

自分の不運を嘆き、家族はどうするのだろうと悩みました。

何とかしなくてはと思い始めた4日目、妻からの「何とかなるわよ、きっと」と何の根拠もない言葉に救われました。治療は医師にお任せして、とにかく僕は「生きる！」と決めました。結果、それが叶わないことになろうとも生きるために頑張ると。

友人には SNS で入院に至った簡単な経緯を添えてこう書きました。「I shall return.」急な報せにたくさんの方がお見舞いに来てくれました。「お見舞いマニュアル」というものがあります。病人に向かって「頑張れ」と言ってはいけませんと書いてあります。それは半分だけ正解だと思います。僕の場合もほとんどの人はマニュアル通りで、僕はやっぱり・・・と思っていました。「死んじゃだめよ！頑張るのよ！年金貰うまでは！」この学生時代の友人

の言葉、一緒に笑ってしまいました。頑張れと言われたことが嬉しかった。

平成 22 年 5 月 26 日造血細胞移植 ――

何回か試みた苦しい抗がん剤治療はいずれも効果なし。「骨髄移植・造血細胞移植」が残された最終手段でした。急いでドナーを探さなければいけません。ところが、ドナーは意外にも身近にいました。自分の長女でした。半合致ではありませんが、僕の病状は危険なレベルにあり、より適合性の高いドナーの出現を待っている余裕はありませんでした。当時まだ症例数の少ない「ハプロ移植（HLA 半合致移植）」で造血細胞を移植することになりました。「百回ジャンケンをして、百回すべてアイコになるくらいの確率ですよ」と主治医が教えてくれました。

移植前日、僕がお願いした訳でもないのに主治医が外泊許可証を持ってきてくれました。家族に病院近くのホテルに集ってもらい一緒に食事をしました。

つかの間の外泊から戻り、病室は移植が行われる無菌室になりました。生存率とリスクなど主治医からいろいろ説明を受けました。「生存率 14%って、100 人のうち 14 番目に入ればいいんですね。僕は大丈夫です。生きると決めていますから。先生頑張っただけね。」真新しい白衣を着たスタッフが見守る中、娘の元気な造血細胞が僕の体内に注がれて行きました。白血病がテーマのドラマでは移植ができて「めでたし、めでたし」とエンディングを迎えます。しかし、僕の場合、白血病との長い付き合いがここから始まりました。

半合致の場合は、ドナーとレシピエント間の免疫のぶつかり合いが起こりやすくなります。移植されたドナーのリンパ球が僕の正常臓器を異物とみなして攻撃してきます。苦しさに泣いて「早く明日になって」と祈る夜が続きました。モルヒネで夢の世界に連れていかれたこともあり、「今日は生きてみよう」「明日の朝までは頑張ってみよう」その繰り返しでした。これまでの人生の中で身体的に一番苦しい時期だったと言えます。自分でもこの時はよく耐えて頑張ったと思っています。

長い入院生活の中で願ったのは「普通の生活」がしたいということでした。窓から見えるあのバスに乗りたい。フーフー言いながら熱いラーメンを食べたい。友達と居酒屋でグダグダ話をしたい。また音楽

を楽しみたい。そんな「何気ない日々」に憧れていました。

ようやく退院の日を迎えることができました。その時僕は何としても 65 歳までは生きると決めました。それは病院の「5 年生存率成績」に貢献できるということ。それが僕を支えてくれた人たちに対する唯一の恩返しになると考えていました。

その後 ―――

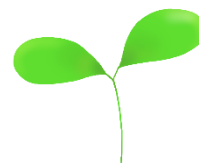
退院して間もなく東日本大震災がありました。その頃は退院後の薬の影響でほとんど目が見えない状態になっており、どこに避難していいのかもわかりませんでした。白内障は手術で簡単に治り、世の中がきれいに見えるようになっています。顔のシワもよく見えています。

それから一年過ぎたころ、胆石と胆管がんの疑いがあり肝臓も半分切除することになりました。術前検査中に敗血症のためトイレで倒れました。意識が戻ると体中のいたるところに管がつながっていました。生き返った喜びよりもトイレで発見された時ちゃんとパンツを履いていたかが気になっていました。

本格的に社会復帰をしようと散歩を日課として自宅療養をしていた頃、股関節が痛み、歩けなくなりました。「特発性大腿骨頭壊死症」でした。立ち上がると関節がゴリゴリと音を立てて崩れていくのがわかるのです。これは人工股関節に置換することで解決しました。

パート勤務で仕事に戻った通勤途中、胸を締め付けるような痛みが襲ってきました。狭心症でいつ心臓が止まってもおかしくない状態でした。「何気ない日々」に戻った今、女性に優しくされて心臓がドキドキするのは病気ではないそうです。

やっと落ち着いて「何気ない日々」を過ごせそうという頃、オールドバイで転倒事故をおこしました。骨折して救急車で運ばれました。ついた病名は「自業自得」。白血病とはなんの関連もありません。生きると決めた僕はなかなか死なないものです。僕が自らを「幸運の人」と言う所以です。





「何気ない日々」の毎日 —————
 今、何気ない日々、その一日一日がとても大切に思えます。昨年の11月、たくさんのお客様をお迎えして、素敵なメンバーと一緒にステージに立つことができました。このバンド活動は、僕が人生を楽しみながら生きている大きな力になっています。

ステージでは献血とドナー登録のお願いをしています。精一杯生き抜いて「もっと生きたかった」と亡くなった方もいます。僕はその無念も引き受けて「何気ない日々」を過ごさせていただいています。僕が何気なく過ごした今日は、誰かが昨日強く生きたいと願った今日なのですから。

お礼 —————

11月のライブでは「神奈川骨髄移植を考える会」の皆様にご来場いただきました。ステージから皆さんの顔が見えてとても嬉しかったです。紙面をお借りして御礼申し上げます。

大川成司（1951年生れ）



（現在はドナー登録説明員としても活躍中）



今日も元気なともちゃんレポート

11月25日、よこすかシーサイドマラソン大会、10kmランへの挑戦です！

実は1ヶ月前、自宅近くでジョギング中に転倒し、左手首の骨に三箇所ヒビが…！

医療面のサポートや、周りの人の支え、励ましのおかげで、ギブス姿での完走を果たしました！

ドナーが見つからなければスタートラインにも立てない骨髄移植。まずはスタートラインに立つために、1人でも多くのドナー登録を推進して行きたい。いつも心に誓いスタートしています。



12月8日、三度目の挑戦、沖縄国頭トレイルランニング大会に参加してきました。

【トレイル】とは、登山用の遊歩道、自然散策のコースの事で、まるで森林浴をしているかのような道のりを8.6kmのウォーク。移植後5年の記念月に、仲間と共にタスキをして元気な姿で完歩出来た事に感謝し、頂いた命をこれからも大切に過ごさせていただきます。沖縄の方は、骨髄バンクに関心が高く「登録しているよ」「提供しました！」と声を掛けていただける事が多く、励みになりました。

大磯ウインドアンサンブル クリスマスチャリティーコンサート



12月16日、秦野市文化会館において開催されました。大勢の来場者が訪れ素敵な演奏と、仲間との再会で笑顔あふれるコンサートとなりました。たくさんの寄付を頂きましてありがとうございました。（中島）

ソニー(株)厚木テクノロジーセンター ドナー登録会



1月24日、25日の2日間にわたり、ソニー株式会社厚木テクノロジーセンター様にて献血併行型ドナー登録会が実行されました。

これはかながわボランティア活動推進基金 21 の共同事業として神奈川県より支援を受け、キャンサーネットジャパンの「造血幹細胞移植の総合支援プロジェクト Start to Be」の企業訪問によって実現しました。

この事業では神奈川県で 2 例目の企業での献血併行型ドナー登録会でしたが献血協力者 280 名に対し、ドナー登録者 39 名、約 14% に上り、通常の前平均約 10% を上回りました。これは担当者様の社員への事前社内メールやポスター掲示等で献血とドナー登録会の告知を積極的に行っていただいたお蔭と思われる。心より感謝申し上げます。

興味は持っていたが仕事で帰りが遅いためなかなか献血ルームに足を運べなかったのが今回は献血と一緒に登録できて良かったとのこととお声もいただきました。こちらの企業では年 2 回の献血を行っているとのことなので継続して実施をお願いしていきたいと思っております。ご協力いただいたソニーグループの皆さまとご登録いただいた登録者に心より感謝申し上げます。

（小坂）

市光工業(株) ドナー登録会



12月5日に、私が勤務する市光工業(株)にて、ドナー登録会を実施する事になった経緯について書かせて頂きます。

説明員の資格を取った経緯

昨年、社内の部署は違うのですが、同僚が最近会社に来ていないという話になりました。理由を知っている方に聞いてみると、白血病で入院中との事でした。

私はその2ヶ月前に骨髓バンクを通じて骨髓提供をしたばかりで、とても他人事と思えませんでした。その同僚の為に何か出来る事がないかと言う事で、神奈川骨髓移植を考える会に入りドナー登録説明員の資格を取る事となりました。

会社でドナー登録会開催の経緯

その後、会社の労働組合の組合長と一緒に同僚のお見舞いに行きました。その帰り道、自分がドナー登録会で説明員として活動していると話をしたところ、会社でも年3回献血バスを呼んで会社内で献血をしているのだが、そこで一緒に登録会を出来ないか？と提案を頂きました。組合長が会社側と掛け合ってください、会社からも献血と登録会を同時に行う許可をもらう事が出来ました。

ドナー登録会の当日

当社では毎回100人程度献血に来られる方がいます。あらかじめ組合に申請してから来るので来られる方の名前と人数は把握されています。社内でドナー登録のPRをしていなかったにも関わらず、23名の方に説明、21名の方に登録頂きました。みなさん業務の合間に来られるので事前告知をしていれば、もう少し話を聞いてくれる方は増えたのかなと思いました。

今後について

組合長より次回の献血も登録会をやりたいとお話しをもらっています。次回はあらかじめ社内のポスターなどで告知をし、少しずつ知名度を上げていけたらと思います。当社には群馬にも工場があり、そちらでも献血と登録会が出来ないか、というところまで話は広がっています。

まだまだ知られていないだけで、ドナーを増やすチャンスは多いと思いますので引き続き活動を頑張っていきたいです。（間島）

ブロックセミナーへ参加

2月2日(土) 関東・甲信越地区で骨髄バンク活動を推進するボランティア団体が参加し、ブロックセミナーが、かながわ県民センターにおいて開催されました。当会の村上会長進行のもと、以下の次第で進められました。

①「神奈川県骨髄バンクの取り組み」について 県がん・疾病対策課 松本進氏、②全国協議会の現状・重点活動について 理事長 田中重勝氏、③各地団体からの報告・情報交換・意見交換等が活発に行われました。

各団体とも、苦戦しながらも頑張っており取り組んでいる様子が直接伺え感動しました。

ブロックセミナーに初めて参加しましたが、もっと多くの会員の皆様が参加して実施されると良いと思いました。

会議後懇親会が開催され、風邪気味のため欠席の予定でしたが、すぐ近くの中国料理店にご一緒しました。その店の若いウエイターに「骨髄バンク」のことをさりげなく話しかけたところその場で登録 OK のご返事を頂き、後日ご登録完了に感謝！ (笠原)

“かながわボランティアフェスタ”参加

2月11日、アースプラザにて夏に台風で順延されていたボランティアフェスタが開催されました。

会員の手作り品の販売で 19,800 円の売上があり、団体紹介コーナーでは「骨髄バンククイズ」を開催しました。当会からは 11 名がボランティアで参加し来場者へ“ドナー登録”の PR を行い、他の団体とも交流を楽しみました。(中島)



◆登録会実施結果

日付	開催場所	登録 / 説明
11.16(金)	明治学院大学(横浜)	14/17
11.17(土)	横須賀中央駅前(みかさ LC)	12/16
11.18(日)	京急久里浜ウイング	8/12
11.19(月)	日本体育大学(健志台)	10/13
11.20(火)	県立保健福祉大学	16/22
11.21(水)	麻布大学	9/20
12.5(水)	市光工業(伊勢原)	21/23
12.6(木)	北里大学(相模原)	11/14
12.9(日)	イオン相模原店	6/7
12.10(月)	慶応大学(湘南藤沢)	12/12
12.11(火)	横浜市庁舎	7/8
12.11(火)	神奈川大学(湘南ひらつか)	8/13
12.12(水)	東京農大(厚木)	15/18
12.13(木)	かながわ信金(追浜)	4/6
12.16(日)	横須賀中央駅前	7/9
12.20(木)	茅ヶ崎市役所	16/22
1.5(土)	川崎大師駅前	5/6
1.6(日)	川崎大師駅前	6/12
1.8(火)	横浜市庁舎	7/9
1.15(火)	明治大学(生田)	11/16
1.16(水)	湘南工科大学	10/11
1.16(水)	神奈川県庁舎	12/15
1.17(木)	神奈川県庁舎	10/16
1.24(木)	ソニー(厚木)第 1TEC	14/18
1.24(木)	ソニー(厚木)第 2TEC	7/10
1.25(金)	ソニー(厚木)第 1TEC	18/20
1.31(木)	相模原市役所	14/15
2.10(日)	相模大野コリドー	10/13
2.12(火)	戸塚区役所	9/11
2.15(金)	Meiji Seika ファルマ小田原工場	34/36
2.16(土)	東戸塚東口西武前	19/23
2.17(日)	横須賀中央駅前	20/24
2.18(月)	防衛大学校	13/16
2.19(火)	防衛大学校	10/12
2.20(水)	相模原市役所前	15/18
2.24(日)	イトーヨーカ堂立場駅前店	19/20
2.26(火)	愛川町役場	14/16
3.8(金)	川崎市役所	22/23
3.9(土)	イトーヨーカドー大船	6/8
3.13(水)	京急久里浜ウイング	10/11
3.13(水)	横須賀中央リドル前	9/10
3.19(火)	小田原警察署	8/10
3.21(木)	桜木町駅前	11/13
3.22(金)	海老名市役所	6/6
3.24(日)	丸山台いちよう坂商店街	11/13

◆その他の活動報告◆

12/8(土) ドナー登録説明員養成講座 (3名)
12/16(日) 大磯ウィンドアンサンブル (広報活動)
3/16(土) 医療講演会・個別相談会

◆日本骨髄バンクの現況 (H31年2月末現在)

骨髄バンクデータ集より	全国	神奈川県
ドナー登録者数	503,883	22,572
患者登録者数	2,121※	77
移植実施数	22,909※	1,428

※海外を含む

◆献血ルーム登録数集計(H30/12月～H31/3月)

(登録数/説明数)

	川崎 (4回)	横浜 クロスポート (4回)	横浜 Leaf (4回)
合計	38/49	68/73	60/65
累計(27/5～)	390/489	464/623	128/145

毎月第2土曜：横浜東口クロスポート献血ルーム

毎月第3土曜：横浜 Leaf 献血ルーム

毎月第4土曜：かわさきルフロン献血ルーム

(説明員：12:00～17:00)

〰️.....

(編集後記に代えて)

ドナー登録と登録ができる場所について

神奈川県では上記の献血ルームへ説明員を配置して登録希望の方へドナー登録についてご説明をしています。対面形式で不安や疑問点についてお答えしています。

また各献血ルームでは、タッチパネルで画像をご覧の上で登録ができます。詳しくは骨髄バンク財団HP参照↓

https://www.jmdp.or.jp/reg/reception/reception_meeting.html

◆ご寄付 & 募金のご報告◆

みなさまありがとうございました

【ご寄付】

コットンキャップの会 様	50,000 円
中井 明美 様	48,000 円
高橋 和男 様	10,000 円
小沢 やす子 様	10,000 円
くつがた・ほっとサロン 様	4,100 円

【募金】

12/16 大磯チャリティーコンサート	71,073 円
2/11 ボランティアフェスティバル	8,512 円

【還付金】

イオンイエローレシートキャンペーン	41,800 円
-------------------	----------

+++

私たちの活動は善意のご寄付で支えられています。
ご協力をお願いいたします。

++寄付の振込先++

郵便振替口座：00230-8-55751
加入者：神奈川県骨髄移植を考える会

神奈川県内の街頭や大学等で開催されるドナー登録会は、献血バスと「骨髄バンクをよろしく」と書かれたキティちゃんの旗が目印です。説明員が待機しています。

いずれの登録場所でも登録の流れは同様で、ドナー要件の説明、申込用紙記入、2mlの採血と医師の問診があります。

ぜひ、登録をお願いします。(な)

〰️.....



55th
ANNIVERSARY

ビル建物総合管理・施設警備

有限会社 白朝サービス社

神奈川県横須賀市汐入町 4-28

TEL : 046-825-7180 FAX : 046-825-7163

広告募集中

お問い合わせは、
『神奈川県骨髄バンク
を考える会』事務局
まで